



さいたま国際芸術祭 2023
～参加者数及び経済効果をお知らせします～

令和6年4月25日（木）

市長定例記者会見



1 さいたま国際芸術祭2023について

会期

令和5年10月7日(土) ~ 12月10日(日)

会場

メイン会場 | 旧市民会館おおみや

その他会場 | 氷川の杜ひろば(大宮図書館)ほか市内各所



- 旧市民会館おおみやの特性を十分に活かした会場構成
- 来場者自身の固有の体験を重視したプログラムを展開
- 過去最大規模での市民プロジェクトを展開

2 参加者数

過去最多

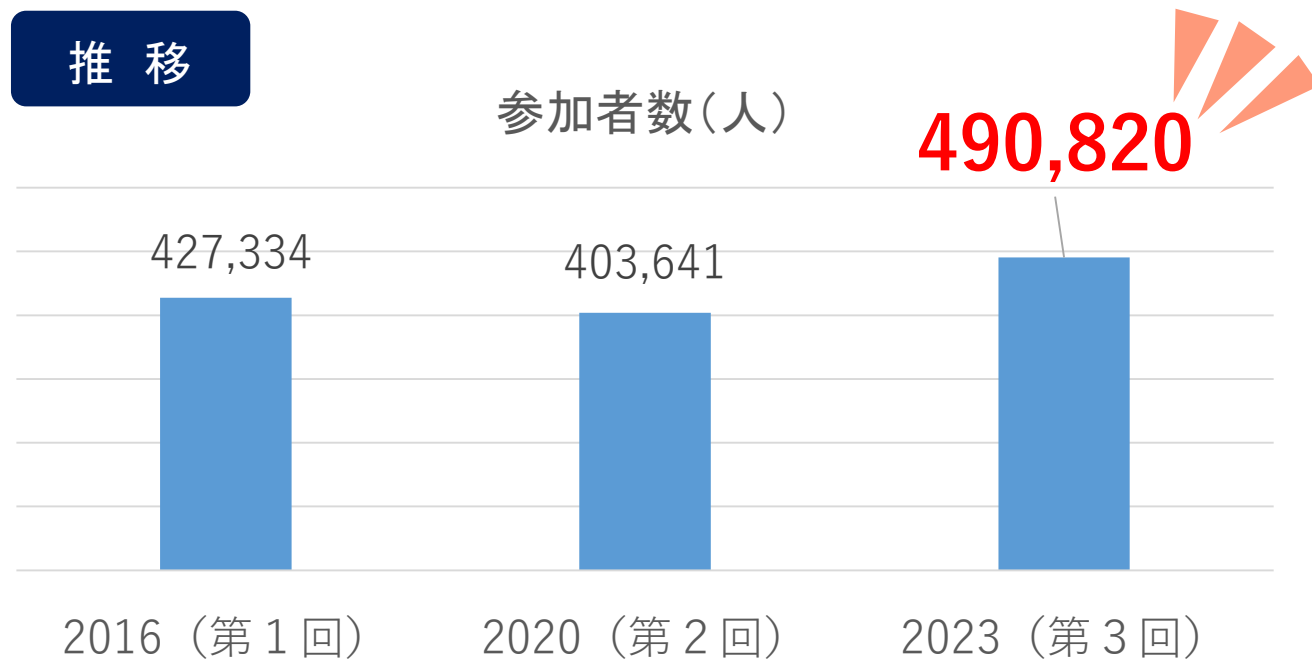
延べ 490,820人

内訳

事業	事業数	参加者数
アートプロジェクト	39	57,932人
市民プロジェクト	147	233,501人
連携プロジェクト	59	152,314人
その他関連事業	18	47,073人
合計	263	490,820人



推移



3 経済効果

過去最高

計 **63億6,705万円**

● 経済波及効果 51億2,280万円

市内における経済波及効果
16億2,870万円

● 広告換算価値 12億4,425万円

広告掲載件数

新聞雑誌等：158件 テレビ：36件

ラジオ：22件 WEB：1,534件

サイネージ：13件



推移

経済効果（万円）

636,705



4 来場者の声

SNS等

展示がめちゃくちゃ面白かった。

今年1番行って良かったと思うイベントだった。

あの場でしか体験できない体験ができてとても良かったな…

メイン会場3回目行ってきた。

口コミを聞いて友人と行ってきたけど、とにかく面白くていい体験でした。

さいたま国際芸術祭の良さを思い出しながらここ何日かホクホクしてる。

TOKYO ART BEAT

「読者が選ぶ、2023年のベスト展覧会」で**ベスト3**に選出

